

4 - 9 伊豆半島の重力変化 Gravity Change in the Izu Peninsula

東京大学地震研究所
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

絶対重力計 FG5 と相対重力計とを同時に運用し、伊豆半島北東部の絶対的な重力変化を決定した。
絶対重力計は FG5#109 を伊東市役所に設置した。

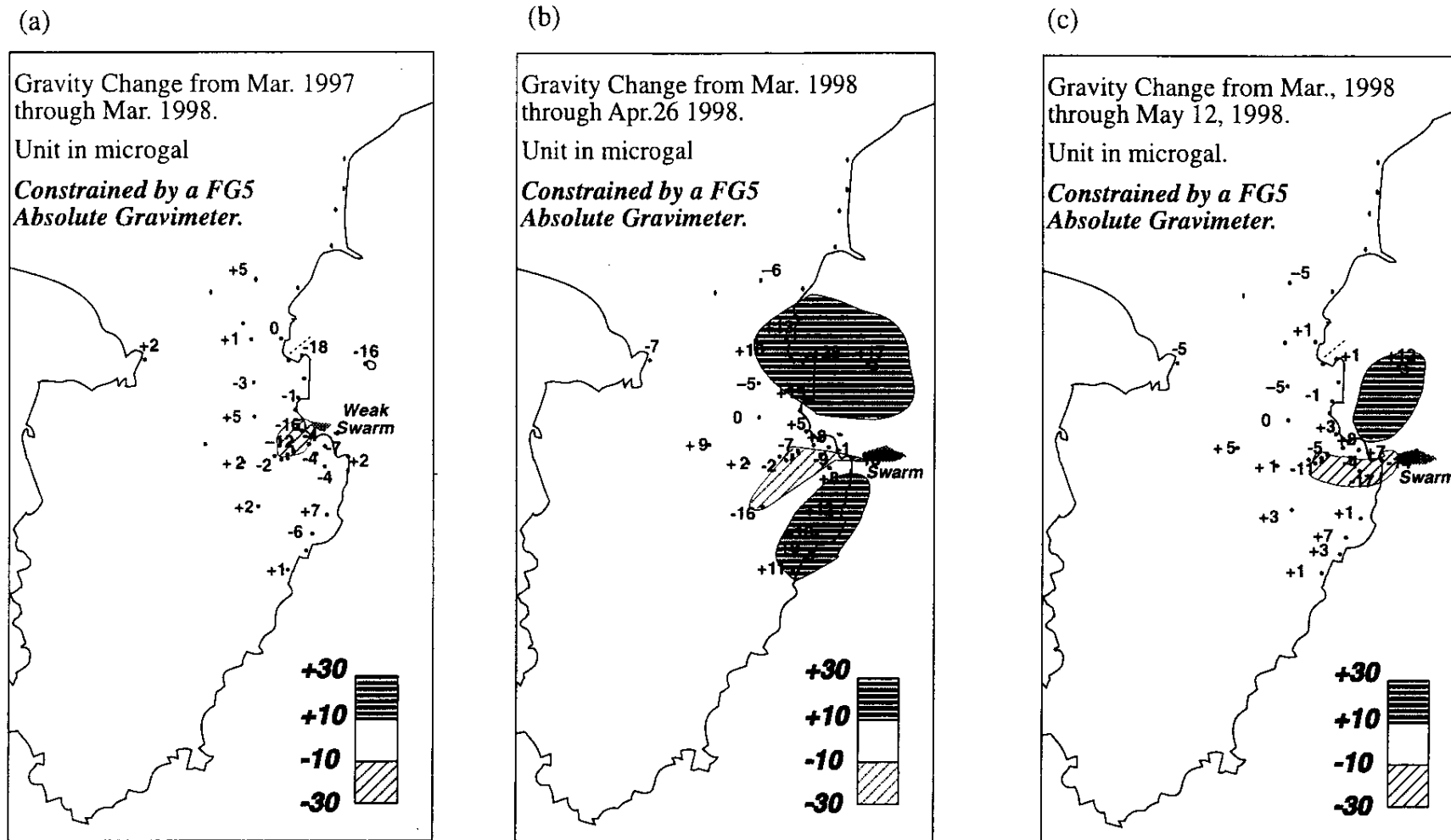
相対測定にはスケール誤差、周期誤差、地磁気方位誤差等を補正済みの2台の同一のラコステ重力計を用いた。

最終的な測定精度は 10 microgal と見積もっている。

1997年3月の群発地震直後からの変動の様子を第1図に示す。

以下の特徴が認められる。

- (1) 地震活動の静穏な時期(1997.03-1998.03)には重力変化はほとんどみられない(第1図a)。
ただし伊東市付近で1997年6月以降現在まで継続中の弱い群発地震活動に関連した重力減少が認められる。
- (2) 地震活動中(第1図b)には、震源域の南北に対称な重力変化パターンが認められる。
- (3) 地震活動がほぼ終息した時期(第1図c)には、(2)のパターンが縮小しつつあるように見える。



第 1 図 伊豆半島の絶対重力時間変化。単位は microgal.

- (a) 1997 年 3 月 12 日 - 1998 年 3 月 12 日。
- (b) 1998 年 3 月 12 日 - 1998 年 4 月 26 日。
- (c) 1998 年 3 月 12 日 - 1998 年 5 月 12 日。

Fig.1 Absolute Gravity Changes in the Izu Peninsula. Unit is microgal.

- (a) Gravity change from March 12, 1997 through March 12, 1998.
- (b) Gravity change from March 12, 1998 through April 26, 1998.
- (c) Gravity change from March 12, 1998 through May 12, 1998.